

## ボツワナ共和国月報(2020年10月)

### 主な出来事

#### 【内政】

- 非常事態の延長
- 非常事態の延長に対する野党の反発

#### 【外政】

- クワペ外務国際協力大臣、SADC選挙監視委員長として選出される
- ボツワナ及びザンビアの大臣、カズングラ橋を視察

#### 【SADC】

- ジンバブエ制裁反対の日に関するニュシSADC首脳会合議長の声明
- セーシェル大統領・国民議会選挙に対する声明の発表
- タンザニア大統領選挙に対する声明の発表

#### 【経済】

- 7月の輸出額、6月に比べ大幅に増加
- カズングラ橋の完成
- ボツワナにおける7月の主な輸出先はベルギー
- 観光省、COVID-19の影響を受けた観光セクターを後押しする
- サバクトビバッタの駆除に50万プラ必要
- ボツワナ、アフリカの中で4番目に強いパスポートを保持
- インフレ率の増加
- アフリカにおける経済自由度指数3位
- ボツワナの食料不安定レベル38.9%

#### 【内政】

##### ○非常事態の延長

9月28日、非常事態の延長の是非を問う臨時国会が開催され、当初10月2日までとされていた非常事態がさらに6か月間延長されることが決定された。

##### ○非常事態延長に対する野党の反発

9月28日に開催された臨時国会で、6か月間の非常事態延長が可決された際、野党から反対が表明された。サレシャンド野党国会代表は、国会に対し、当初、非常事態を要請する理由として挙げられたものは、どれも妥当ではなかった他、非常事態は、投資家の信頼を抑制しただけであり、その規制は、観光業を含むあらゆるセクターの経済活動の抑制につながったと述べた。

## 【外政】

### ○クワペ外務国際協力大臣、SADC選挙監視委員長として選出される

外務国際協力省のプレスリリースによれば、マシシ大統領は、SADC 政治・防衛・安全保障オーガン議長として、クワペ外務国際協力大臣をセーシェル大統領・国民議会選挙及びタンザニア選挙のSADC選挙監視委員長に選出した。

### ○ボツワナ及びザンビアの大臣、カズングラ橋を視察

17日、セホコ運輸通信大臣はカウンターパートのムワレ住宅インフラ大臣と共にカズングラ橋の最終検査を実施した。「セ」大臣は、カズングラ橋が通行可能となった際には、SADC諸国の経済及び統合が促進される旨述べた。

## 【SADC】

### ○ジンバブエ制裁反対の日に関するニュシSADC首脳会合議長の声明

25日、ニュシ・モザンビーク大統領/南部アフリカ開発共同体(SADC)首脳会合議長は、ジンバブエに課された制裁解除を求めるSADC制裁反対の日に、声明を発表した。SADCは、ジンバブエ国民の生活を改善し、阻害されることなく国を発展させるため、ジンバブエに対する制裁を無条件に解除するよう改めて要求した。

### ○セーシェル大統領・国民議会選挙に対する声明の発表

26日、南部アフリカ開発共同体(SADC)政治・防衛・安全保障オーガン・トロイカ議長であるマシシ・ボツワナ大統領は、セーシェル大統領・国民議会選挙結果に関する声明を発表した。「マ」大統領は、選挙管理委員会が2020年の大統領・国民議会選挙を成功裡に実施したことを祝福した他、新政府が平和で且つ成功を収められることを祈念した。

### ○タンザニア大統領選挙に対する声明の発表

31日、南部アフリカ開発共同体(SADC)政治・防衛・安全保障オーガン・トロイカ議長であるマシシ・ボツワナ大統領は、タンザニア大統領選挙結果に関する声明を発表した。SADCは、タンザニア国民が平和裡に国民の権利を行使し、タンザニアの民主主義へのコミットメントを今一度体現したことを賞賛した。また、「マ」大統領は、マグフリ・タンザニア次期大統領の選挙における勝利を祝し、新政府が平和で且つ成功裡に任期を務められることを祈念した。

## 【経済】

### ○7月の輸出額、6月に比べ大幅に増加

ボツワナ統計局によると、2020年7月の貿易は、COVID-19の影響を受け落ち込んでいた6月から大幅に増加した。これは、ダイヤモンド原石市場がビジネスを再開したことが起因している。ボツワナの総輸出額は、6月の11億プラから、7月には21億6,000万プラとなり、10億プラ以上の増加となった。最も輸出された商品はダイヤモンドで総輸出の79.1%を占めていた。

### ○カズングラ橋の完成

運輸通信省のメディアリリースによると、カズングラ橋プロジェクトのパッケージ1の橋本体及びスロープ部分は100%完成した。

### ○ボツワナにおける7月の主な輸出先はベルギー

ボツワナ統計局の最新の貿易統計によると、7月の主な輸出先はベルギーで、総輸出の56.2%(12億1,750万プラ)を占めていた。同輸出のほぼすべてがダイヤモンドであった。

### ○政府、COVID-19の影響を受けた観光セクターを後押しする

観光省は、観光セクターに対して、賃金補助の分配を始めた。インタビューにて、ケレン観光大臣は、「観光省は、最近ドイツが寄付した1,600万プラを(賃金補助に)用いた。同資金は、COVID-19によって職を失った人々を支援するためのものである」と述べた。

### ○ サバクトビバッタの駆除に50万プラ必要

農業当局は、最近ンガミランド(マウン付近)に侵入してきたサバクトビバッタの駆除に50万プラが必要である旨述べた。マボテ地域農業調整官代理は、特別災害委員会の会議にて、先週(5日から11日の週)、マバベ(チョベとオカバンゴの間)付近にて発生したサバクトビバッタは、現在オカバンゴ地区にまで広がっていると述べた。

### ○ ボツワナ、アフリカで4番目に強いパスポートを保持

2020年の世界パスポートランキングによれば、COVID-19が過去5年間の世界の移動事情を大きく変えており、ボツワナのパスポートランキングはアフリカで4位となった。また、世界では42位となり、ホンジュラス、サウジアラビア及びオマーンと同位であった。

### ○インフレ率の増加

ボツワナ統計局によると、過去最低だったボツワナの消費者物価は、9月に急激に増加した。年間インフレ率は、1975年以来最も低い数字であった6月及び7月の0.9%から8月には1%、9月には1.8%まで上がった。9月の消費者物価の急増は同月初旬に施行された公共交通機関料金の値上げに起因している。

### ○ ボツワナの食料不安定レベル38.9%

19日、世界食料デーにてスピーチを行ったハレ農業開発・食料安全保障大臣は、ボツワナ全体で栄養不足の家庭が47.7%、食料が不足している家庭が38.9%である旨述べた。「ハ」大臣は、刻々と変わり続ける条件の下、(食料の)持続性を確保するため、食料生産者及び天然資源に気を配る必要があることを強調した。

### ○ アフリカにおける経済自由度指数3位

2020年世界経済自由度指数によれば、ボツワナはサブサハラアフリカ47か国の中で3番目、世界で40番目に経済自由度の高い国であり、サブサハラアフリカ及び世界の平均よりも大幅に高いことが明らかになった。経済的に自由度が高い国では、個々人が自由に労働、生産、消費、及び投資ができる。